

2022年度 全道少年（U-12）8人制サッカー大会 兼 第19回 J A 全農杯全国小学生選抜サッカー I N 北海道 十勝地区予選

開 催 要 項

1. 主 旨 少年サッカーの発展と育成を目指し、かつ交流を図るとともに8人制サッカーの底辺拡大に努める。
2. 主 催 一般社団法人十勝地区サッカー協会
3. 主 管 一般社団法人十勝地区サッカー協会・十勝少年サッカー連盟
4. 後 援 (公財)日本サッカー協会・十勝教育局・帯広市教育委員会
5. 特別協賛 全国農業協同組合連合会（JA全農）
6. 協 賛 ホクレン農業協同組合連合会
7. 期 日 XXXXXXXXXX
8. 会 場 XXXXXXXXXX
9. 参加資格
 - (1) 「参加チーム」は、今年度(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
 - (2) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
 - (3) 「参加選手」は、2010年4月2日以降に生まれた現5年生以下であること。
 - (4) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、原則内1名以上がJFA公認コーチ資格(D級以上)を有すること。
 - (5) 参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ていること。
 - (6) 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険等)に加入していること。
 - (7) 「参加チーム」は日本スポーツ少年団に登録したチーム及び選手であること。
 - (8) 本協会が定める新型コロナウイルス感染症対策を遵守できるチームであること。
10. 参加チーム及びその数
 - (1) 「参加チーム」の構成は、選手16名以上20名以内、引率指導者4名以内とするが、選手は5学年だけでその人数を超えるチームはその人数まで登録を認める。
 - (2) 複数チームの参加を認めるが、5学年の人数が24名以上であることを要する。ただし、参加チーム数により日程消化が困難であると判断した場合は、複数チームの参加を認めない場合がある。日程消化が可能な申し込みチーム数に余裕があり、これを超える申し込みがあった場合は、5学年の人数が多いチームを優先する。
11. 競技規則 (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
12. 大会形式 1次ラウンドはリーグ戦を行い、成績上位の数チームが2次ラウンド(決勝トーナメント)に進む。
※ 大会形式は参加チーム数により変更あり。
13. 競技方法
 - (1) プレーの時間:36分(12分-12分-3分-12分 3ピリオド)
 - (2) インターバル(ピリオド間):第1ピリオドと第2ピリオド間は選手交代に要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は3分とする。
 - (3) エンドの決定:
第3ピリオドのエンドはコイントスで決定し約半分が経過したタイミングでサイドをチェンジする。タイミングは審判に委ねる。再開方法はキックオフとする。
 - (4) 試合の勝者を決定する方法
1次ラウンド順位は勝点(勝-3点、引分-1点、負-0点)、得失点差、総得点、対戦相手の順で決定する。ただし、同率の場合はリーグ戦終了後、PK方式で順位を決定する。
準決勝と決勝では時間内に勝敗が決しない場合は6分(3分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合は試合終了時に出場している選手によるPK方式(3名)で勝者となるチームを決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分:PK方式に入るインターバル:1分

- (5) 選手の交代
- ・競技者の数は、常に8人(内1人はGK)とする。
 - ・原則、選手全員が1ピリオドを通じて出場する。
 - ・第1ピリオド出場の8人、第2ピリオド出場予定の8人と、その他交代要員を予め明確にする。
 - ・交代要員を含め同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオドすべてに出場することはできない。事故・けが等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が11人以下になった時に限り、1試合で3つのピリオドに出場することを認める。(延長戦はピリオドの数に含まない)
- ①第1ピリオド
- ・予め決められた第1ピリオド出場予定選手が出場する。
 - ・試合中の事故・けが等で交代する場合は交代要員が出場する。交代要員:提出したメンバー表に出場印がついていない選手。
 - ・交代選手全員が事故・けが等で出場が困難となった場合に限り、第2ピリオド出場予定の選手が出場できる。
 - ・交代して退いた選手は再び出場できない。(=自由な交代ではない)
- ②第2ピリオド
- ・予め決められた第2ピリオド出場予定選手が出場する。
 - ・試合中の事故・けが等で交代する場合は交代要員が出場する。第1ピリオドで交代して出場していても出場できる。
 - ・交代選手全員が事故・けが等で出場が困難となった場合に限り、第1ピリオド出場予定の選手が出場できる。
 - ・交代して退いた選手は再び出場できない。(=自由な交代ではない)
- ③第3ピリオド
- ・第1・第2ピリオドの両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員も含め誰でも出場できる。
 - ・何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)
- ③延長戦
- ・交代要員を含め誰でも出場できる。
 - ・何回、何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。(=自由な交代)
- (6) 交代の手續
- ・交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - ・交代して出場する選手は、退く選手が外に出た後、交代ゾーンからフィールドに入る。
 - ・交代は、インプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
 - ・交代は、主審補助審判の承認を得る必要はない。
 - ・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- (7) テクニカルエリア:設置する。
- (8) ベンチに入ることができる人数:最大選手12名(例外規定あり)・指導者4名
原則2名以上の指導者がベンチに入ることを義務付けする。
- (9) 審判員:主審1名、副審2名、補助審判1名の計4名で割り当てどおり審判運営を行う。
- (10) アディショナルタイムの表示:実施しない
- (11) ファウルと不正行為
- ・警告・退場:通常の競技規則に準ずる。
 - ・退場:当該チームは交代要員の中から競技者を補充し、常に8人でプレーする。
 - ・退席処分:ベンチ(監督・コーチ・役員他)が判定に対して意義を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。
- (12) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許可される引率指導者の数:2名以内
- (13) 登録選手証:本大会に出場する選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。ただし写真貼付により顔の認識ができるものであること。選手証とは、本大会では印刷したものを示す。スマートフォンやPC等の場面に表示したものは、不可とする。
- (14) ピッチサイズ:縦68m×横50mの大きさを使用する。
ペナルティエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m、その地点からゴールラインに直角に12m

ゴールエリア:ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴールラインに直角に4m

センターサークル:半径7m・ペナルティマーク:8m

ペナルティアーク:半径7mの半円弧・フリーキック時の壁との距離7m

(15) ゴール:ゴールの内のり縦2.15m、横5m

(16) ボール:4号球

(17) コーナーキック:ボールがインプレーになるまで相手競技者は7m以上離れる。

(18) グリーンカードの導入

14. ユニフォーム

- (1) (公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、本大会において以下の規定を設ける。
- (2) 本競技会に登録した正副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ、及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
正・副の2色については明確に異なる色とする。
- (3) ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- (4) ゴールキーパーユニフォームの、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする
- (5) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立ち合いのもとに、その試合におけるユニフォームを決定する。また、その際は、登録された2組のユニフォームのうちからシャツ・ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。(ゴールキーパーのみ、登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。)
- (6) ゲーム進行時、ゴールキーパーがフィールドプレーヤーとなる場合(その逆の場合も)については、シャツの交換のみでもよいこととする。また、その場合、ゴールキーパーは、他の選手との判別がつくのであれば、ゴールキーパーとして登録しているユニフォームでなくてもよいものとする。
- (7) 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- (8) 選手番号の参加申込締切日以降の変更は原則認めない。
- (9) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または、外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- (10) アンダーシャツ・タイツの色は問わないが、チーム内で同色のものを着用する。
- (11) ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会第4種部会が別途定める規定に基づくものでなければならず2021年4月27日までに(公財)北海道サッカー協会に承認された場合にのみ認められる。

15. 懲罰

- (1) 本大会の予選は懲罰規定上の同一の競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
- (2) 本大会は、本協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (3) 本大会の規律フェアプレー委員会の委員長は(一社)十勝地区サッカー協会4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。
- (4) 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (5) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置においては本大会規律フェアプレー委員会で決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている場合は、試合を停止する。
- (6) 本大会諸規定及び本記載事項にない事例に関しては大会規律委員会にて決定する。

16. 参加申し込み

「参加チーム」は以下の手続きを期日までに完了すること。

- (1) 参加申込書提出(所定のファイル)
- (2) 大会参加料(6,500円)(内連盟負担金500円を含む)の納入 申込み締切日までに下記指定口座に納入すること。
- (3) 複数参加希望のチームは、申込書に2チーム目の記載をし、申込み締め切り後、参加可能と認められた場合に2チーム目の参加料を納入すること。
- (4) 選手変更・追加登録は、監督会議までに所定のファイルにより再提出すること。
- (5) **参加申込み締切 2021年9月23日(木)17時必着とする。(以後の受付はしない)**

【申込み先・申込みの問合せ】

(一社)十勝地区サッカー協会4種事務局長 内山 富博
Eメール:std.21u@gmail.com 携帯:080-5582-1998

【競技事項の問い合わせ】

(一社)十勝地区サッカー協会4種委員長 宇野 和也
Eメール:monpy@sea.plala.or.jp 携帯:090-2814-2267

大会参加料等振込口座(振込用紙に必ず大会名、チーム名、氏名を記載すること)

銀行名:ゆうちょ銀行
口座番号:02730-8-39544(郵便振替口座)
口座名:十勝少年サッカー連盟

17. 組合せ

監督会議において抽選し確定する。

18. 帯同審判

- (1) 出場チームは公認審判員(3級以上)を1名以上帯同させること。
その氏名、級を参加申込み書(メンバー登録票)に記載し提出のこと。
監督・コーチとの兼務を可能とするが、審判業務を最優先とすること。
- (2) 帯同審判員は、大会期間中、要請を受けた審判業務に当たらせるものとする。
主審、副審1は(3級以上)の者が行い副審2、予備審は(4級以上)の者が行う。
(3級以上)を帯同できない場合は、申込み締切日までに下記宛てまで連絡し、
- (3) 不帯同料として一試合毎3,000円を大会当日の朝、本部に納入すること。

【審判に関する問い合わせ】

(一社)十勝地区サッカー協会4種審判委員長 喜多 翼
Eメール:tsubasa_n1m1m1s3@yahoo.co.jp 携帯:090-2076-8786

19. 監督会議

(調整中) 2021年10月1日(金)頃予定 19時 ZOOMによるオンライン監督会議
監督又はそれに準ずる者が出席すること。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。

20. 開会式

行わない。

21. 閉会式

閉会式は行わない。決勝戦終了後に表彰式のみ行う(第3位まで表彰)
(大会形式及び参加チーム数により表彰規定変更の場合あり)

22. その他

- (1) 選手証は大会初日、当該チーム試合前に確認する。
- (2) 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
- (3) 大会参加にあつたては指導者、後援会を問わずプレイヤーズファーストの理念の基に「大会参加にあつたての注意事項」を遵守しなければならない。
- (4) 荒天・震災・雷等、不足の事態が発生した場合は主管地区協会4種委員会(4種委員長、副委員長、事務局長、審判委員長などで構成)において協議のうえ対処する。
中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
- (5) **無観客開催とする。**
- (6) 対戦チームに試合を開始できない瑕疵が生じた場合は対戦チームを0-5の不戦敗とする。
- (7) 本開催要項にない事例に関しては主管地区協会4種委員会において判断し対処する。
- (8) 本大会は大会期間を通じて「感染対策担当者」を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。
また、試合前に各チームの感染対策担当者ミーティングを実施する。
大会参加チームは、新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で関係者から感染者が出た場合は、本大会運営委員会において協議の上、対処する。
- (9) 本大会は大会期間を通じて新型コロナウイルス感染症対策として、以下の対応をとるものとする。

- ①本大会実施にあたり、最新版（公財）北海道サッカー協会発出「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」を遵守し、参加選手および関係者はチェックリストによる確認を行う。
 - ②各チームは感染対策担当者1名を配置し健康チェックシートと団体用チェックリストの提出をはじめ、感染対策に関わる全般の対応にあたる。
 - ③大声を出すなどの応援は控える。
 - ④ソーシャルディスタンスの確保、及びプレー、アップ以外でのマスク着用の義務付け。都度アルコール消毒を行うこと。検温要請への協力。
 - ⑤新型コロナウイルス感染症の拡大による制限などにより、試合の中止、日程延期などの場合がある。
- (10) 代表の1チームは全道大会への参加を義務付ける。
- (11) 全道大会 2022年4月（未定）